

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	母性看護学概論	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(30H)	学期	第2学期
担当講師	近藤 三枝(臨床経験16年、教育経験6年) 渡部 寛子(臨床経験21年、教育経験4年)				
科目目標	1. 母性の概念や特性、社会の動向や課題を踏まえ、母性看護の目的や役割を理解する。 2. 母性のライフサイクルにおける特徴や、起こりやすい健康障害及び看護の方法を理解する。				
授業概要	第1回～4回 担当:渡部 寛子 (講義) 第1回 1. 母性のとらえ方 2. 母性観の変遷 3. 母性看護の概念 第2回 1. 母性看護の歴史の変遷 2. 母性看護の現状(周産期医療システム・母子保健法・子育て支援) 3. リプロダクティブヘルス/ライツの概念(性の多様性を含む) 第3回 1. 人間の性と生殖(性周期における変化・ライフサイクルによるホルモン変動) 2. 家族計画と受胎調節(受胎のメカニズム含む) 第4回 1. 女性のライフサイクル 2. 家族のライフサイクルにおける家族の発達段階と家族看護 第5回～14回 担当:近藤 三枝 第5回 1. ライフサイクル各期における健康課題と看護(思春期)(性感染症・人工妊娠中絶) 第6回 1. ライフサイクル各期における健康課題と看護(成熟期)(母子保健統計の動向と施策) 第7回 1. ライフサイクル各期における健康課題と看護(更年期)(更年期障害) 第8回 1. 不妊夫婦への支援 1) 不妊の定義 2) 不妊治療とその看護 3) 不妊治療中の女性の心理・社会的特徴 第9回 1. 出生前診断 2. 母性看護における倫理 第10回 1. 母性看護に必要な看護技術 2. リプロダクティブヘルス/ライツの課題 1) 性暴力を受けた女性に対する看護 2) 在日外国人の母子保健 3) 生活困窮者への助産 第11～12回 女性の各ライフステージにおける健康教育(演習) (GW) 第13～14回 女性の各ライフステージにおける健康教育(発表) (GW) 第15回 終了試験:1H				
看護師国家試験出題基準	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、性(セクシュアリティ)、セックス、ジェンダー、性の多様性(性同一性障害、性分化疾患、LGBT) 出生に関する統計、新生児・乳児・周産期死亡に関する統計、妊産婦死亡に関する統計、死産・流産・人工妊娠中絶に関する統計 プライバシーの保護、自己決定の尊重、人工妊娠中絶と倫理的問題、生殖補助医療と倫理的問題、出生前診断と倫理的問題 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)、性暴力被害者支援、虐待防止に関する法律 母体保護法女性の就労に関する法律、第二次性徴、性意識・性行動の発達、家族計画、受胎調節、月経異常、月経随伴症状 性感染症(STI)、不妊症(男性不妊症、女性不妊症)、女性生殖器の疾患(子宮筋腫、子宮内膜症)、ホルモンの変化と検査 更年期障害、骨粗鬆症、閉経、骨盤臓器脱、尿失禁、萎縮性膣炎、外陰炎、母性・父性・親性、母親役割・父親役割、 家族の発達・機能、女性を中心としたケア、家族を中心としたケア、ウェルネス、エンパワーメント、ヘルスプロモーション セルフケア				
授業の進め方	母性の役割、機能を身体的・心理的、社会的側面から、そして歴史的に概観し、健全な母性のあり方や健康な家庭づくりへの看護を学ぶ。ライフサイクル各期の特徴や健康課題、看護を学ぶ。さらに、母子行政の現状を理解出来るとともに将来展望できる。 ライフサイクル各期の健康問題について健康教育のグループワークを行い、発表の機会をもつ。				
履修のポイント・留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 母性各期の心の健康は精神看護学で学習する。 5回目「ライフサイクル(思春期)の健康課題と看護」は小児看護学概論「小児各期の発達課題」(既習)を8回目「ライフサイクル(更年期)の健康課題と看護」は「疾病治療論Ⅳ(生殖器)加齢による生殖機能や性ホルモンの変化」(既習)を、8回目「不妊夫婦への支援」は「形態と機能Ⅳ(生殖器)女性生殖器の構造と機能、受精」(既習)を学習しておくこと。 				
テキスト	系統看護学講座「母性看護学 1」 医学書院 系統看護学講座「母性看護学 2」 医学書院 厚生指針 国民衛生の動向 一般財団法人厚生労働統計協会				
評価方法・配点	課題レポートの提出及び授業態度(10%)、健康教育演習(10%)、筆記試験(80%)				